# 奄美の風だより

発行・編集：奄美自然体験活動推進協議会

NO. 15
（通号： 4）
2004. 1. 1
ANC: News Letter

「餌を探しているアマサギ」

「センリョウ」

新年を迎えていかがお過ごしでしょうか。冬らしく冷たい北風が吹きつける日もありますが、年末から年明けにかけては暖かくおだやかな天候で、日中はまるで一足飛びに春が来たかに思わせる陽気がつづきました。

それでも野生の動植物たちを見ると、確かに冬の季節の到来を告げているのがわかります。道路沿いや麓から見上げる野山の所々には、紅葉を楽しむことが出来ない温暖な気候の奄美で、唯一紅葉するハゼの木の葉が真っ赤に染まっていて緑の中に映えています。また、薄暗さを感じるこの季節にセンリョウの赤い実や、道路沿いの木にからみついたシラタマカズラの白い実は目を引きます。気候によるせいなのでしょうか？渡って来る野鳥たちに変化を感じます。昨年の今頃はあれほど見られたシロハラの姿は、あまり見られません。かわりにこの冬は、先月中旬頃から１羽のアマサギが、センター周辺の草むらで餌を探して歩いている姿を毎日のように見かけます。時にはセンターの建物で休んでいる時もあり、渡っていくまでの間、近くに居続けるのではと思っています。

今日はいるのかなあ・・・？とアマサギの姿を探す日々が続きそうです。

# 協議会活動報告

**自然ふれあい行事「大和川のリュウキュウアユを増やすためには」**
**場　所：大和川（大和村）**
**日　時：12月5日（金）14：00～16：00ビデオ観察17：00～19：00**
**講　師：新村安雄先生**

12月5日（金）に大和小学校の4年、5年、6年生と先生方でリュウキュウアユを増やすための作業を行いました。始める前に奄美野生生物保護センターでアユについての勉強を（新村さんがビデオを見ながら解説）してから川へ出掛けました。リュウキュウアユは、奄美大島と沖縄に生息していましたが、現在は奄美大島だけに生息しており、しかも数が減少し絶滅が心配されています。そこで大和川でアユが少しでも増えるように、産卵に適した環境を造ってあげようと行ったものです。大和川へ着くと（河口から約１ｋｍ）、新村さんと生徒や先生方が川の中へ入って行き，川底のゴミや泥をスコップやジョレンを使って取り除いていきました。そしてアユが産卵しやすいように砂利を運んで入れました。限られた場所へ全員が一緒に入っての作業でしたので短時間で造ることができました。

アユは1月中旬頃まで産卵して、海で2ヶ月程過ごした後3月頃に帰ってくるそうです。生徒さんからは「とても良い体験になりました」「あまり川に入った事がないので楽しかった」「アユが川に増えて欲しい」などの感想が寄せられました。みんな大和川にアユが増えてくれることを期待しているようです。昼間作業した場所に新村さんがビデオを設置していましたので、夕方観察に出掛けた生徒さんもいたようです。

5日後の12/10午後に産卵が確認されたので、小石に付着した卵をセンターに持ってきて、みんなで顕微鏡で観察しました。

大和川での作業の様子

# 第４回やせいのいきもの絵画展

## テーマ「私の好きな奄美の風景」

## 展示期間：平成15年12月6日（土）～平成16年2月1日（日）

第４回「やせいのいきもの絵画展」が奄美野生物保護センターと共催で開催されています。

今回は野生の動物や植物ばかりでなく豊かな自然に恵まれた奄美の風景を描いてもらおうと、テーマを「私が好きな奄美の風景」とて募集しました。群島内外から多数の応募があり作品数は253点で応募校は14校（個人含）でした。

選考会を12月3日にセンター職員と協議会事務局で行ないました。「いきもの大賞」「あざやか賞」「ユニーク賞」「審査員特別賞」の4部門の他に選考中にセンターを訪れた千石正一先生が選んだ作品を「千石賞」として加えました。

12月6日（土）午前11:30分からセンターの企画展示室で表彰式が行われました。協議会会長の永田武光大和村長が「みなさんが住んでいる町や村の風景を心を込めて絵に描いてくれました」と挨拶され、入賞者の一人一人へ賞状と賞品を手渡されました。表彰式には入賞者本人だけでなく家族の方や先生方も出席してくださいました。低学年の部で「いきもの大賞」に輝いた喜界町立阿伝小学校１年生の山田隆成君は「絵を描くのが好き、賞をもらえて嬉しい」と入賞の喜びを話してくれました。

絵画展をご覧になった方からは「たくさんの生きものと人間を絵にしているのが良く優しい気持ちになれます」「きれいな絵が描かれていて良かったです」などの感想が寄せられていました。なお応募作品はセンター展示室に平成１６年２月１日（日）まで展示してありますので期間中にご覧いただけたらと思っています。

応募していただいた生徒のみなさん有り難うございました。

表彰式と絵画展の様子

## 入賞者及び作品名

| 賞 | 入賞者 | 題　　名 | 学校名（学年） |
|---|---|---|---|
| いきもの大賞 | ①山田　隆成 | オカヤドカリと遊んだよ | 阿伝小学校１年 |
| | ②西岡　琴美 | 今も変わらない海 | 阿木名小学校６年 |
| あざやか賞 | ③福島　秀太 | 海の楽園 | 大和小学校３年 |
| | ④安原　茜 | 海と空と魚たち | 今里小学校２年 |
| | ⑤永田　梓 | 今里へいらっしゃい | 今里中学校２年 |
| | ⑥梅田　泰明 | 泳ぐいもりたち | 名音小学校４年 |
| ユニーク賞 | ⑦東崎　明日香 | オオゴマダラと私 | 阿伝小学校１年 |
| | ⑧藤郷　太朗 | クマノミとイソギンチャク | 万世小学校２年 |
| | ⑨福山　隆洸 | アカマタ | 大和小学校５年 |
| | ⑩重田　郁海 | 光る海とアダンの実 | 嘉鉄小学校５年 |
| 審査員特別賞 | ⑪福　竜太朗 | 奄美の風景 | 亀津中学校３年 |
| | ⑫泰　真奈美 | あふれる自然 | 阿木名小学校６年 |
| 千　石　賞 | ⑬溜畑　吾大 | カメは目が悪いんだよ | 今里中学校２年 |

## 第４回やせいのいきもの絵画展出展校（応募総数253点）

| 学　校　名 | 応募作品数 | 学　校　名 | 応募作品数 |
|---|---|---|---|
| 阿木名小学校 | ３９名 | 亀津中学校 | ６２名 |
| 阿伝小学校 | ５名 | 崎原小学校 | ９名 |
| 天城小学校 | １名 | 知根小学校 | １０名 |
| 今里小学校 | １０名 | 名音小学校 | ２６名 |
| 今里中学校 | ２名 | 大和小学校 | ６１名 |
| 大棚小学校 | １２名 | 大和小湯湾釜分校 | ９名 |
| 嘉鉄小学校 | ６名 | 万世小学校（個人） | １名 |

計２５３名

## 絵画展をご覧になった方からの感想

# 入賞作品の紹介

## 「いきもの大賞」

山田隆成（阿伝小１年）

西岡琴美（阿木名小６年）

## 「あざやか賞」

福島秀太
（大和小３年）

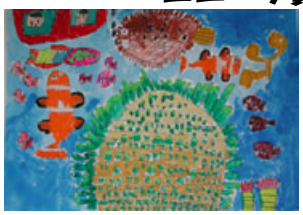
安原　茜
（今里小２年）

永田　梓
（今里中２年）

梅田泰明
（名音小４年）

## 「ユニーク賞」

東崎明日香
（阿伝小１年）



藤郷太朗
（万世小２年）

福山隆洸
（大和小５年）

重田郁海
（嘉鉄小５年）

## 「審査員特別賞」

福竜太朗
（亀津中３年）

泰真奈美
（阿木名小６年）

## 「千　石　賞」

溜畑吾大
（今里中２年）

# 新聞記事

# 新聞記事

# 地域紹介コーナー　住用村

住用村は、奄美大島本島の東南部に位置し、北西部は名瀬市、大和村、南西部は瀬戸内町、宇検村と山岳で接し、村内を流れる住用川、役勝川、川内川は島内屈指の長流で水と緑に囲まれた村であります。

村内を流れる住用川と役勝川の合流するデルタ地帯には、マングローブが群生していて国定公園に指定されています。奄美は、亜熱帯に属するため学術上貴重な動植物の生息が見られます。

本村の散策コースとして、マングローブ探検はいかがでしょうか。マングローブの中をカヌーで巡るツーリング、展望台から見下ろす全景、遊歩道を歩く散策等見る角度によりさまざまな空間を満喫できます。周辺を彩る貴重な植物と干潟や川に生きる動物とのふれあいは住用村でしか体験できません。ゆっくりと多種多様の動植物を観察し、のんびりと亜熱帯気分を過ごしてみてはいかがでしょうか。

マングローブ

住用村散策コース

サガリバナ

シオマネキ

シレナシジミ

オキナワアナジャコ

| | このコースで見られる野生生物 | | |
|---|---|---|---|
| 植　物 | メヒルギ<br>ハマボウ | オヒルギ<br>サキシマスオノキ | サガリバナ |
| 動　物 | 干潟：シオマネキ<br>ヒルギシジミ | ミナミコメツキガニ<br>ノコギリガザミ | ミナミトビハゼ<br>オキナワアナジャコ |
| | 川　：リュウキュウアユ | | |

# 身近な生きもの情報

## 野生の生きもの観察日記

### 『冬の自然日記：オオトラ放鳥プロジェクト』

強い北西季節風（ミーニシ）が吹いています。冬がないと言われる奄美大島ですが、強い風を感じると肌寒く感じてしまう今日この頃です。鳥たちもサシバやシロハラなど冬鳥が渡って来ているのですが、昨年に比べるとかなり数が少ないように感じます。昨年は冬鳥が大変多い年で、タンカンなどの農作物が本土から渡って来たヒヨドリなどに食べられてしまうという報道もあったのですが、今年はその心配はなさそうです。

この秋センターに右脚にケガをしたオオトラツグミが保護されてきました。オオトラツグミは奄美でも最も絶滅のおそれのある鳥の1つで、アマミヤマシギと共に保護増殖事業が行われている鳥です。9月末に保護され、12月には無事に放鳥できたのですが、放鳥に至るまでは多くの人の努力がありました。今回はその時の話をしたいと思います。

持ち込まれた鳥にとって最大の問題は“食べ物”です。何を食べるのか、それは安定供給ができるのか、どのくらい与えればいいのか、試行錯誤の連続です。オオトラツグミはミミズが好きらしいという情報はありましたが、ミミズを安定して確保するには不安があったので、特製の“練り餌団子“を作って与えてみました。これは以前オオトラツグミを数年に渡り保護・飼養した実績のある地元NPOの方に教えて頂きました。

作り方はメジロ用の3分すり餌と鶏卵1個、菜っ葉少々（小松菜やホウレン草）と水を混ぜ、ちょうど良い堅さになるまで練ります。1回分を小分けにして団子にし、与える時はスタッフのアイデアで細長くして置いてみました。これを食べてくれるかが飼養成功の鍵となるのでとても不安でしたが、与えたその日から食べてくれて一安心でした。一方、ミミズは近くの農家の方の協力で堆肥の周りを掘らせてもらえました。この場所は信じられないことに、いくら掘ってもミミズがなくなりません。結局放鳥までの約2ヶ月半の間、約700匹ものミミズを供給できました。こうして主食に練り餌団子、おかずにミミズという餌メニューが確立し、安定した飼養が可能になりました。（写真右上）

こうした暖かい支援とスタッフの努力、そしてオオトラツグミ自身の強い生命力のおかげで体重は保護当初の110g程度から170g近くまでに増え、心配された足のケガも回復し、大型ケージの中を元気に飛び回って大好物のミミズを食べる程になりました。そしていよいよ放鳥の時、私の手から離れたオオトラツグミは元気に森へ飛び去りました。

一度保護された鳥が野外で生存できる可能性は20％程と決して高くありません。しかし、最初はケージ内でうずくまり「もう駄目か…」と思っていた鳥が、元気に飛んでいく姿を見ると希望を持たずにはいられません。いつか野外で再会できることを心から願っています。

（←放鳥直前の様子。足輪をつけて識別できるようにした）

（飼養後半には大型のケージでのリハビリを行った→）

# 情報マップ　地図

# 冬にみられる野生生物

※参考文献：図鑑奄美の野鳥：琉球孤野山の花

「オオトラツグミ」　スズメ目　ヒタキ科　　天然記念物・絶滅危惧種

原生的な照葉樹林で局所的にすみ、個体数がきわめて少ない貴重な種である。体全体に黒色や黄色の三日月斑や横斑があり、奄美では冬季に見られるトラツグミに比べ、さえずりが全く異なる。また、大型で尾羽が全ての個体で12枚であることなどの違いがある。日の出前のまだ薄くらいうちから、澄んだきれいな声でさえずり、地上でミミズや昆虫類等を採餌しているものと思われるが、詳しい生態は不明である。最近の調査では、繁殖個体数が100羽程度で、絶滅の危険性が高い。

鳴き声：ツィーチキョロンチー、ヨォーヒィヨォ、キョロロンなど
生息時期：1月～12月
生息分布：奄美大島、加計呂麻島

「ルリビタキ」　スズメ目ヒタキ科

雄は頭から尾の先まで体の上面が青色で、白く短い眉斑がある。下面は白っぽく脇が橙黄色である。雌と若鳥は体の上面が緑褐色で、尾は青みがかっている。のどと腹は白っぽく、脇は橙黄色。雄の若鳥は雌に似ているが、小雨覆が青灰色で脇の橙黄色や尾の青色が濃い。北海道や本州、四国の亜高山帯の針葉樹林で繁殖する。奄美へは冬鳥として渡来し、山地や林道などで見られる。

鳴き声：ヒッヒッ、ピィピィ、キョロキョロキョロリ、
生息時期：11月、12月～3月

「シラタマカズラ」　分布：本州（和歌山県南部）・四国南部・九州南部以南

低地～山地の林縁や路傍に普通に見られる全体無毛の常緑藤本で葉は対生し、長さ２～4mmの葉柄がある。花冠は白色で短い漏斗状、長さ約4mm。液果は球状楕円形、径5～7mm、白熟する。方言名の「ワラベナカセ」は、外見は強そうなつるであるが、もろく、子供がこれで薪をくくるとすぐに切れて泣いたことに由来する。

編　集　後　記

奄美各地からヒカンザクラの開花のニュースが聞かれる頃となりました。
満開時には良い天気で出掛けられるといいですね。
今年もよろしくお願いします。

編集・発行：奄美自然体験活動推進協議会事務局

□ 〒８９４－３１９２
鹿児島県大島郡大和村大和浜１００
大和村役場　企画財政課
ＴＥＬ：０９９７－５７－２１１１

□ （連絡・書類等送付先）
〒８９４－３１０４
鹿児島県大島郡大和村思勝字腰ノ畑５５１
奄美野生生物保護センター内
ＴＥＬ：０９９７－５５－８６２０
ＦＡＸ：０９９７－５５－８６２１